



笑顔輝く

2 学年通信 5月号

発行日：平成 25 年 6 月 7 日

発行者：鎌ヶ谷市立第二中学校



P a d d l e (パドル=オール)

学年主任 澁江優司

私の祖母は私が中学生の時94歳で亡くなりました。祖母は北海道函館に生まれ、兄弟姉妹が多かったため両親が仕事をしている間、幼い妹や弟の面倒を見なければなりません。そのために小学校も卒業することができませんでした。今の日本ではほとんどいませんが、私の祖母は自分の名前以外文字を読むことができませんでした。それでも、15歳で札幌に出て工場ではたらく結婚し3人の子供を立派に育てました。小学校を卒業してなくても立派に生きていけたわけです。しかし、年をとってからは1日中家で過ごすことが多かったのですが、読書を楽しむこともできなかったし、趣味や特技があったわけではないので毎日が寂しそうでした。テレビを見ていてもドラマなどはあまりわからず、唯一懐メロが楽しみでした。そんな祖母の姿を思い出すたび、文字が読めたら、学校でいろいろなことを学んでいればもう少し楽しい人生を過ごせたのではないかと思います。

中学校で勉強する内容は、受験以外には必要のないものが多いようにも思われます。一生懸命勉強したとしても何の役にも立たず終わってしまうものもあるでしょう。しかし、知っていれば知らないよりずっと楽しく生活できたり、考え方やものの見方がとても豊かになります。一生懸命頑張らなくても勉強すれば、きっといいことがある、楽しみがどんどん広がっていくはずだ。そんな希望を持ち続けて頑張ろう。Mr. Childrenの曲に「PADDLE」があります。その歌詞の中にこんなフレーズがあります。『行け、荒れ狂う海原の上、未来へと手を突きだして。もしかしたら今日は何も起こらないかも、でも、明日へとパドルリング』(PADDLE:オールでこぐ) 夢や希望・可能性を信じ、明日へ向かって漕ぎ続けよう。きっと、何か良いこともあるかも…。

林間学校の3日目、自然体験学習の時『カヌー』の担当でした。生徒がオールを上手にを使って生き生きとしている姿を見ました。なぜか今こんなことを思いました。

林間学校から帰ってきました！

林間学校担当 井島彩美

初めに、林間学校に向けて放課後何度も集まり、2年生になって最初の大きな行事を成功させようと努力を続けてくれた実行委員に感謝したいと思います。特に集会の手際のよい進行や、手作り感あふれるしおりは実行委員の大きな成果です。他にも大きく成長を感じた事は、実行委員をはじめ、各班の班長や副班長が自分たちの仕事に責任を持ち、自主的に活動しようとする姿が増えたところです。各学級で多くの人が活躍した事も、新たな信頼関係につながったことでしょう。今後の課題は、楽しむ場面と集中して何かに取り組む場面との切り替えを早くすることだと思います。キャンプファイヤーでの合唱や、登山での頼もしい足取りから、何かをやりとげる大きな力を持った学年であるということに確信を持ちました。2泊3日を共にした仲間と、良い事も悪い事も言い合える真の友情を築き、2学年を高めあえる関係に成長してくれることを期待します。ここに、各クラスの実行委員より一言ずつ載せたいと思います。

新たな発見もあった林間学校

1 組 石井 沙也加

最初は不安ばかりでした。胃はキリキリするし、吐き気もあって気分は最悪。ですが、出発式を終えたら気分が少し楽になっていました。

前日まで、1組ははっきり言うと、相当うるさかったです。点呼をするのが遅くなるときもありました。

でも、この林間学校では、バーベキューのときもカレー作りのときも、今までうるさかったのが嘘のようなチームワークを発揮していました。

バーベキューのとき、私の班はとても盛り上がり、普段の生活では気づかないような発見がたくさんできました。林間学校では、いつもは気づけない発見がたくさんできたり、いつもは話さないような人とも話せるとても良い機会となりました。

学級委員の私は大変でしたが、それと同じくらい楽しかったです。皆さんはどうでしたか？この体験を踏まえて、これからの学校生活を充実したものにしていきましょう。



新たな発見



2 組 清宮 柚葉

私はこの3日間でクラスメートの良いところや苦手なことなどたくさん発見をしました。クラス替えからわずか一カ月での林間学校だったので、あまりクラスメートとはコミュニケーションがとれていませんでした。実行委員としてみんなをまとめる側として、これはまずいな、という不安の中の3日間でした。点呼は遅いし列はぐちゃぐちゃ。何もできない自分が情けなかったです。しかし、当日。皆の動きがいつもと違いました。時間を正確に守り、班で協力して行動する。そんなみんなの変化に一日目の夜、先生と話して気づきました。こんなにも変わるものなのか、と正直驚きました。そんなみんなを見て、明日も頑張ろう、みんなのために何が出来るかな、と思えるようになりました。2組のまだ発揮されていないパワーに気づき、これからのクラスで行う行事がとても楽しみになりました。みんなの笑顔を大切に、これからも頑張りたいと思います。



実行委員として



3 組 近藤 優大

僕たちは5月30日から6月1日まで林間学校に行きました。林間学校では、富士山などの山を歩いたり、体験学習をやったりと、とても行事が盛りだくさんでした。すごく疲れたけれど、とても楽しかったです。でも、一つだけ心残りがあります。それは、クラスのみんなに指示が通らなかったことです。実行委員はみんなより先に行動し、指示をださなければなりません。ですが、実行委員としての行動ができず、キャンプファイヤーの時、かなり時間が遅れてしまいました。もっと僕たちの指示が早ければ、キャンプファイヤーの時間も早くなっただけ、休み時間も増えたと思います。そこは、僕が反省しているところです。その他にも三日目の服装のことも、もっと自分が確認しておけば、みんなが間違った服装にならなかったと思います。次にリーダーになった時は、もっと指示が通りやすくするためにはどうしたらよいか考えてからみんなに指示を出し、間違った行動をとらないように声をかけていきたいと思っています。

林間学校を終えて

4 組 芝原 菜奈

私は林間学校でたくさんの人と出会い、たくさんを経験をして、たくさんのことを学びました。

みんなで協力したり、助け合う仲間の大切さを改めて感じ、自然の偉大さを知ることでもできました。また、自分自身初めて体験できたこともあり、本当に充実した3日間でした。

しかし、反省をしなければいけないことや、次への課題が残りました。それは、ルールが守れなかったり、行動が遅かったり、お世話になった方々への感謝の気持ちが態度や行動で表せなかったりと、小さなことかもしれませんがすごく大切なことだと思います。ちゃんと反省をして、学校生活に生かしていきたいです。そして、もっと学年やクラスの絆を深め、けじめのある学年にしていきたいと思っています。



可能性

5 組 阿部 巧実

正直なところ、あまり林間学校に良い思い出を期待してはいなかった。全体的に普段の生活での落ち着きが、少し足りないと思っていたからだ。しかし、そんな気分はこの3日間で吹き飛んでいた。それは、みんなが持つ『可能性』を目にしたからだ。

いつも着席違反をよくする人が、班の仲間と協力してカレーを作ったり、登山での危ない道をみんなで声を掛け合って登ったり。なにより、キャンプファイヤーでの合唱には感動した。練習と比べてより多くの人が心燃やして歌っていた。そんなクラスが一つや二つではなかったのもとてもよかったと思う。

でも、民宿で障子を破いてしまったり、おやつルールを守れなかったりする人もいて、その点は悲しかった。

楽しく思い出を作る人がいる一方で、ルールやマナーを守れない人がいるのが本当にもったいないと思う。みんなには大きな『可能性』があるのだから、修学旅行では頑張ってほしい。



林間での思い



6 組 藤村 梨乃

三日間クラスの仲間と過ごすことが、私にとって少し不安でした。とても楽しみだったけれど、朝から夜までずっと一緒に、トラブルが起きて嫌な思い出ができれば、と思うと不安がありました。でも、そんな心配はまったくありませんでした。林間学校を終えた今、私はとても清々しい気持ちです。一日目は時間を守れない部分があり、反省をして二日目に活かすことができ、きつい登山でもみんなで支えあいながらケガ人を出さずに終えられました。三日目はみんな帰りたい気持ちでいっぱい、楽しくバスに乗って帰って行くことができました。私は6組のみんなの絆が深まり、いいクラスになれたと思います。まだまだ課題はあるけれど、このクラスなら、なんでも乗り越えられると思います。私がこう思えるのは、先生方が何日も前から計画し、私たちのことを考えて話し合いを重ねてくれたおかげだと思います。そのことをわかっていない人がまだいると思いますが、卒業までにはみんなが先生方に感謝できるよう頑張ります。

6月の予定

	20日(木)	中間テスト1日目 (理・国・英)		
4日(火)	教育相談 (~6/7)	21日(金)	中間テスト2日目 (社・数・保体)	
5日(水)	耳鼻科検診	24日(月)	特別日課	
10日(月)	全校委員会	25日(火)	5校時研究授業	
12日(金)	林間学校まとめ集会	27日(木)	全校集会	
13日(木)	生徒総会		「携帯電話等安全教室」	
14日(金)	漢字検定			
17日(月)	教育実習 (~7/5)			
18日(火)	市内陸上			